

2014年9月15日発行

K



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース  
The Kanagawa  
Physical Therapy Association  
News

P

9 2014  
September  
No.259

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 谷 浩明

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[26.8.1現在]

4,352名

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会長行動報告 P4▶会員ライフサポート部活動報告47報  
P6▶新人教育プログラム P8▶学会情報 P9▶研修会・講習会 P11▶information  
P13▶理事会報告 P15▶スポーツ現場の独り言 P16▶編集後記/原稿送付先

## 巻頭言



# チーム医療の魅力

東海大学医学部附属病院 リハビリテーション技術科  
東福寺規義

近年、医療保険の診療報酬改定毎に、多職種によるチーム医療が推進されている。例えば、呼吸ケアチーム加算は、チームの構成人員として理学療法士が明記されており、退院時リハビリテーション指導料は、他職種である看護師などと共同して指導することとなっている。

医療関係職能団体によって構成されている医療推進協議会が、チーム医療の理念を次のように掲げている。「患者中心の医療の推進」「高いレベルの専門性の推進」「情報共有の推進」「チーム医療の推進」。言葉では理解したつもりになるが、実際に取り組んでみると理学療法士として専門性を発揮するだけでは、チーム医療のなかの役割としては不十分であると感じる。チーム医療を機能させるためには、チーム全体が他職種の業務を理解し、情報を共有し、総合的に評価していく取り組みが大切である。

現在、私は心臓リハビリテーション業務（以下、心リハ）に取り組み始めて3年目になる。当院の心リハチームは、循環器内科医師をはじめ、理学療法士、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士、そして医事課の事務職員で構成されている。今回は、当院の心リハチームの取り組みを振り返り、チーム医療の在り方を考えてみた。

運動療法を行う上で、リスク管理や治療方針を共有することは大切であり、医師とのコミュニケーションは必須である。看護師は、日々の体調に関する情報収集に加えて、運動範囲を規定するために必要な運動前後の心電図を計測している。理学療法士の専門領域である運動療法を行うためには、医師や看護師との連携は不可欠である。管理栄養士は冠危険因子の是正のために、水分、塩分コントロールや脂質、たんぱく質の管理情報を提供するほかに、外来でも栄養指導を継続している。薬剤師は服薬指導を通じて、日々変化する投薬についての情報を患者に提供し、臨床心理士は心疾患患者の性格上の特徴や、ストレスについての情報を提供している。また、臨床検査技師は、病態や治療

効果の把握に必要な心電図、超音波検査、運動負荷検査に取り組んでいる。ここまでの職種の取り組みにより、心リハは、運動療法のみではなく、包括的な治療が行われていることが分かる。さらに、当院では医事課の事務職員が参加しており、心リハチームに診療報酬算定についての情報を提供している。毎月の算定状況を見ると、心大血管リハビリ算定料以外に、栄養指導料や運動負荷検査料、心理検査料などが算定されていることが分かり、各職種の業務量の把握ができる。各職種の行った業務が数値化されることは、業務に対するモチベーションを上げることに役立つ。このようにチームに携わる他職種の業務を理解すると、理学療法士の業務も他職種に支えられている部分が少なからず存在することが分かる。このことを理解すると、患者さんに対する評価が専門領域に留まらず、自然と総合的にとらえようとする視点が生まれてくるのである。

話は変わるが、今年の心臓リハビリテーション学会で、日本での多施設間研究による冠動脈疾患に対する運動療法のエビデンスが提示された。運動療法に関しては、継続して運動を実施することで心死亡率や再入院率が改善するとの報告であった。運動療法のエビデンスは、欧米でのエビデンスが多く存在していたが、日本でのエビデンスも増えてきている。この結果もそれぞれの施設での心リハチームでの取り組みによる結果が反映されているのかもしれない。

チーム医療を行う上で、理学療法士の専門性は、運動療法を提供することである。それに加えて、他職種の役割を具体的に理解し、協力して総合的に評価、治療に取り組むことが、患者さんに質の高い医療を提供することに繋がる。それこそが、チーム医療の魅力である。みなさんも患者さんを通じて、他職種を理解するよう心掛けてみてはいかがでしょうか。新しい視点を必ず得ることができるでしょう。

## 活動報告

### 第32回協会賞受賞

平成26年6月8日に第42回日本理学療法士協会定時総会にて、協会賞の表彰式が行われました。受賞者は14名、長年にわたって協会活動に尽力された諸先輩方を讃える賞として神奈川県から齋藤幸広氏（藤沢市民病院）が受賞されました。



### 「理学療法の日」鶴川駅前キャンペーン

医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院 リハビリテーション科 古川広明、齋藤 成也、松本 拓

暑さも日に日に増してくる今日この頃、平成24年に新設された新百合ヶ丘総合病院リハビリテーション科も今年の8月に2年を迎えることとなります。

この度、昨年に引き続き7月17日の「理学療法の日」にちなみリーフレット配布のキャンペーンを実施させていただきました。昨年は当院の最寄駅である新百合ヶ丘駅にてキャンペーンを行いました。今年も新百合ヶ丘駅から約4km離れた鶴川駅にて活動させていただきました。

日本理学療法士協会、神奈川県理学療法士会のご協力のもと、「理学療法フェスタ」、「理学療法士はあなたの生活のサポーターです」をはじめ、当院のリハビリテーション科も実施している医学健康講座などのリーフレット各200部を配布させていただきました。地域の皆様からの理学療法やその他に関するご意見、ご質問にも幅広く対応できるよう、当院から理学療法士3名に加え、看護師、社会福祉士、事務職員の方にも協力させていただきました。

キャンペーン前日は台風が接近していましたが、当日は天気もよく気温も30℃を超える暑い日となりました。当院のスタッフと協力し、午後12時頃に日本理学療法士協会の「笑顔をあきらめない」のポスター掲示、リーフレットの配布を開始しました。鶴川駅には年齢層は学生から高齢者と幅広い年齢層で賑わっていました。スタッフの皆様の協力もあり、午後14時に200部配布終了しました。

リーフレットを受け取って頂いた方の多くは高齢者の方であり、リハビリを経験され在宅へ復帰した方、外来リハビリを受けている方、ご家族の方がリハビリを受けている

のを見たことがあるという方もいらっしゃいました。また学生の方々は理学療法という言葉に反応は薄かったものの興味を持っていただき、リーフレットを受け取る姿も多く見られました。

駅前でのリーフレットの配布、ポスター掲示、声かけにより多くの方に興味を持っていただき、多くのご意見やご質問を聞くことができました。内容といたしましては「骨粗鬆症で悩んでいるので、講義を受けて、予防していきたい」、「今、腰が痛くてリハビリに通っている」、「運動不足にならないように簡単な運動をしたい」といったような予防に関わる点での質問が多く聞かれました。学生の方々からも「理学療法士ってどういう仕事?」というように認知度は高齢者と比較し低い印象を受けました。現在、理学療法士養成校の増加もあり、理学療法士の人数は10万人を超えるまでとなっています。今後の高齢化社会において更なる理学療法の発展に大きく貢献してくれるであろう若い人たちとの関わりは大きなものでした。また、当院が地域貢献の一環として行っている医学健康講座などを既に知っている方、興味を持っている方が大変多いと感じました。当院のリハビリテーション科もこの医学健康講座に携わっており、今までも「腰痛予防」、「認知症予防」、「嚥下について」、「転倒予防」、「膝痛予防」、「肩こり予防」などをテーマに掲げ、多くの方々に聞いていただいています。その他、「これから私たちお年寄りを支えてくれるのは貴方たちだから頑張る」と励ましの言葉をかけて下さる方もいたので大変嬉しく思いました。



駅前キャンペーンを通して、昨年と同様、理学療法の認知度は高齢者が高く、50歳未満の方は低いという現状はまだ変わらない印象を受けました。また、認知している方も理学療法は「病院でするもの」という先入観があり、在宅、介護保険分野の理学療法に関する知識は医療保険分野と比べるとまだまだ低いように感じました。しかし、「疾病予防」に関する興味は高く、自身の身体、病気の知識をつけ向き合っていく姿勢は強く、理学療法士として応えていかなくてはいけないと感じました。

今後の課題として、高齢者にとって退院後の生活をフォローしていくためにも訪問リハビリなど在宅でのリハビリテーションの充実。また高齢者だけでなく、介護保険を所有していない年齢の方に疾病予防の観点からも理学療法の認知度の向上や重要性を知っていただくことが大切であると考えます。今後も病院、施設内だけでなくとどまらず地域、社会に発信していけるリハビリテーションがまだまだ必要であると感じました。

今回のキャンペーンでは地域の方々の理学療法に対する

様々な声を聞くことができたほか、課題を再認識する機会を得ることができました。これから2025年を目途に始まる「地域包括ケアシステム」の推進課題でもある医療と在宅サービスとの連携、介護・在宅サービスの強化、バリアフリーの高齢者住まいの整備、予防の推進、リハ的教育・啓発活動など医療から介護を含めた包括的視点をもち理学療法に取り組むべきであると感じた一日とすることができました。



## 公益事業推進部からのお知らせ

理学療法フェスタが盛況に終わりました。今年は日本理学療法士協会の主導で全国統一介護予防キャンペーンデーが7月13日に指定され、本会は相模原市で介護予防キャラバンを開催しました。ご参加いただいた県民の方には、日本理学療法士協会が作製した介護予防リーフレット「介護

予防 何を、どう予防するんだ？」を配布しました。理学療法フェスタの様子は日本理学療法士協会のホームページ「理学療法の日特設サイト」にアップされていますので是非ご覧ください（他都道府県士会の事業の様子も掲載されています）。



月	日	内容	場所	
6月	1日(日)	49回学会	開港セミナー、閉会式	
	3日(火)	常任理事会、会務処理	事務所	
	4日(水)	横浜市障害支援区分認定審査会	関内	
	6日(金)	PT連盟理学療法士組織代表候補者選考委員会	田町カンファレンスセンター	
	7日(土)	PT協会理事懇談会	田町カンファレンスセンター	
	8日(日)	PT協会総会	田町カンファレンスセンター	
	10日(火)	事業運営会議、会務処理	事務所	
	12日(木)	49回学会準備委員会	事務所	
	15日(日)	定時総会、半田PT協会長懇話会	戸塚	
	15日(日)	県保険医協会懇親会	横浜ベイシエラトンホテル	
	17日(火)	地域包括ケアシステム推進対策委員会、会務処理	事務所	
	23日(月)	県医療専門職連合会総会	横浜技能文化会館	
	24日(火)	常任理事会、会務処理	事務所	
	25日(水)	北里大学医療衛生学部訪問	北里大学	
	27日(金)	朝日新聞取材	事務所	
	7月	2日(水)	横浜市障害支援区分認定審査会	関内
		5日(土)	拡大事業運営会議、懇親会、会務処理	事務所
8日(火)		会務処理	事務所	
12日(土)		行政PT懇談会	事務所	
13日(日)		介護予防キャラバン開会式挨拶	ユニコムプラザ相模原	
14日(月)		県PT連盟設立準備会	事務所	
15日(火)		地域包括ケアシステム推進対策委員会、会務処理	事務所	
17日(木)		県医療専門職連合会理事会	OT士会事務所	
22日(火)		会務処理	事務所	
24日(木)		会務処理	事務所	
25日(金)		横浜リハ専門学校教育課程編成委員会	横浜リハ専門学校	
31日(木)	会務処理	事務所		

## 活動報告

## 日本理学療法士協会 会長半田一登氏による総会時講演

会長 秋田 裕

2014年6月15日に開催された本会総会時の講演会は、半田一登協会長による「理学療法士に求められるもの～地域包括ケアシステムと理学療法士の役割～」でした。

この講演を通じて、私たち理学療法士に期待されている役割と、職能団体としてなすべき課題について、協会長から直接メッセージを伺うことができたのは、本会会員にとって、たいへん大きなインパクトがあったように思います。

講演会に参加されなかった会員に、この紙面をお借りして、協会の進めている動きと合わせて、講演の概要をお伝えしておきます。

ここ数年協会が進めている大きな組織改革の動きの中で、昨年12月15日、全国から都道府県理学療法士会会長が参集し、第1回目の「組織運営協議会」が開催されました。これは、職能団体として協会と各都道府県理学療法士会が連帯して戦略を描くことを目的として、従来の「全国都道府県理学療法士会会長会議」から名称を変更した会議です。

この会議の冒頭挨拶で半田協会長は、「今後、地域包括ケアシステムにおいて、主体になるのは『都道府県理学療法士会』だと強く認識している。これから都道府県理学療法士会がどのような活動をすればよいのか、どういう組織を作ればよいのか、意見交換を行いたい」と述べ、協会と士会との連携強化が大きな課題であると指摘しました。

地域包括ケアを推進する取り組みについては、充実・強化施策として「医療・介護連携」「認知症施策」「地域ケア会議」「生活支援・介護予防」が掲げられており、リハビリ

テーション専門職には、特に「介護予防」と「地域づくり」を担うことが期待されていること、推進する実質的な主体は市町村であること、その実現に向けては、各都道府県理学療法士会が果たす役割がたいへん重要であることを繰り返し強調されました。

こうしたことから協会では、「地域包括ケアシステム推進対策本部」（対策本部長：森本榮氏）を設置して、都道府県理学療法士会の法人機能の強化と人材育成を後方支援する方向性を示した訳ですが、半田協会長は今回の講演の中で、こうした協会の流れをご説明され、「社会保障制度改革国民会議報告書」にも触れられ、とくにその医療と介護に関する部分は、理学療法士たるもの必読であると述べられていました。

ウェブ上ではこの報告書の全文と概要版が公開されていますので、ご一読されたうえで、地域包括ケアシステムについてのご理解を一層深めるとともに、理学療法士たるご自身の果たすべき役割を再確認して頂くようお願いする次第です。なお、この医療と介護に関する部分の要約を本会ホームページにも掲載しましたので合わせてご参照下さい。

## 報告書：

[www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo.pdf)

## 概要版：

[www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo\\_gaiyou.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo_gaiyou.pdf)

## 第49回日本理学療法学会活動報告

会員ライフサポート部（西山昌秀、寺尾詩子）

会員ライフサポート部  
活動報告 第47報  
職場環境を考える

会員ライフサポート部では、平成26年5月30日～6月1日にパシフィコ横浜で行われました第49回日本理学療法学会で、ポスター2題、シンポジウム1題を発表させて頂きました。その内容について以下に簡単にご報告させて頂きます。

## ■ポスター発表

昨年調査しました「休会会員と自宅会員を対象に就業に関するアンケート」の結果についてポスターで発表しました。「集計結果から見た傾向」と「自由記載から考える問題点」という観点で2題になりました。「集計結果から見た傾向

では、自宅会員及び休会会員のうち40%がPTとして働いておらず、そのうち90%の会員は復職の予定がない事がわかりました。復職できない理由としては、結婚や出産に伴う環境やライフスタイルの変化に伴い元の職場で働けなくなる事や長期離職により自信を失う事でした。

「自由記載から考える問題点」では、自宅会員および休会会員の就業継続に関わる問題は多岐にわたっており、復職前後の教育、勤務体制が上手く工夫されている施設の紹介や情報提供などの支援活動の継続が必要であると考えられました。さらにこれまで行ってきた情報提供は伝わっていない



い場合が多く、情報提供の方法については再検討が必要と思われました。

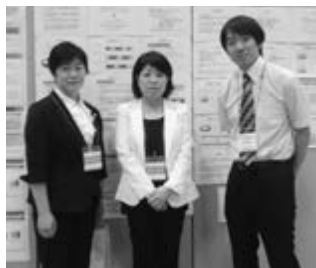
発表の場面では座長の先生やフロアの方々と就業継続や就業動機などについて活発な討論が出来ました。改めて就業における問題の重要性を再認識する事が出来ました。

今回のポスター原稿は、ホームページに掲載します。是非ご覧ください。

### ■ライフサポートセミナー

この学会では、ライフサポートセミナーとして「就業継続に関する問題を考える」というテーマで特別講演とシンポジウムを企画する機会を与えていただき、当部員からも司会者2名、シンポジスト1名として演題に立たせていただきました。シンポジウムは神奈川県士会からあと3名シンポジストとして発表いただき、「就業継続における問題点」というテーマを様々な立場（出産、父親、介護、管理職）から論じました。各発表者のこれまでの経験や考えが1つ1つ凝縮されており、

他人ごとではなくいろんな立場で自分にも起こりうる問題があることを再認識させられ、また自分の経験



では想像もしていなかったようなことが実際には起こりうる内容となりました。これは週間医学界新聞（第3082号p.7）や医療介護情報サービスCareer Brainでも取り上げられ、育児・介護などの問題を含む就業継続分野への関心の高さが伺われました。

また、特別講演では、「男女のからだの変化と就業継続の問題」というテーマで2名の先生方に講演をしていただきました。自分や相手のからだに起こる変化を知り、また、具体的な対応の仕方も提示していただけて、有意義な講演となりました。特別講演、シンポジウムともに会場に入れなくても多く、本当にたくさんの方に興味をもっていただけたこと、反響も大きかったことを糧に今後の活動も頑張りたいと思います。

### ■託児室に関するアンケート

今回、学会3日間にわたって「託児所に関するアンケート調査」を学会参加者を対象に実施しました。突然のお願いにも関わらず、非常に多くの方が、快く協力してくれました。ご協力して頂きました皆様方ありがとうございました。詳細に関しては、来年のPT学会で報告させて頂く予定になっております。それまでしばしお待ちください。

### ■さいごに

今回の活動は、学会長、準備委員長、準備委員の皆様、そのほかにもいろんな方々のご支援のおかげで開催ができ、大盛況となりました。皆様に感謝申し上げます。

## ◆託児室付研修会のご案内◆

①生涯学習部主催 神経心理学療法領域研修会「中枢神経に与える理学療法の効果」

日程：平成26年11月30日（日） 10：00～13：00

場所：神奈川県立保健福祉大学

講師：菅原憲一先生（神奈川県立保健福祉大学）

②会員ライフサポート部復職支援事業 交流会&研修会  
「今さら聞けないシリーズ5 生活期に関わるPTのためのリスク管理～事例を通して」

日程：平成26年12月21日（日） 13：30～16：30

場所：ウィリング横浜

講師：大森豊先生（訪問看護リハビリテーションネットワーク）

■託児室利用対象者：（公社）神奈川県理学療法士会会員の家族（0歳児～就学前のお子様）

■託児室利用時間：研修開始15分前～終了後15分

■託児室の場所：いずれも研修会と同じ建物内に設置します

■託児委託業者：①（株）ポピンズ ②（株）タスクフォース

■申込み期間：①9月30日～11月21日 ②10月21日～12月12日

■託児室利用申し込み方法

いずれも、研修会とは別に申し込みが必要です。

申込者（保護者）氏名・連絡先（①の研修はポピンズからの申し込み用紙を送付するため住所を記載ください）、利用者（お子様）氏名・年齢・性別・託児で注意することをご記入の上、lifesupport@pt-kanagawa-u.ac.jp（会員ライフサポート部）へメールでお申込み下さい。

■問合せ先：lifesupport@pt-kanagawa-u.ac.jp 会員ライフサポート部までメールして下さい。

※研修会・講習会の詳細、申し込みについては、別ページに掲載の案内をご確認下さい。

※以前、ご案内しました介護保険部主催の研修会は会場の都合により、託児室の設置ができなくなりました。研修会の日程も変更になっております。ニュース紙面、ホームページで詳細をご確認下さい。

# 新人教育プログラム

## 平成26年度 第2回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会学術局生涯学習部

この度、平成26年度の第2回新人教育プログラム研修会を開催しますのでお知らせいたします。

- 開催日** 平成26年9月28日（日）（受付開始9:30予定）
- 開催地** 横浜市教育会館  
〒220-0044横浜市西区紅葉ヶ丘53
- 交通** JR「桜木町駅」下車 徒歩10分  
京急「日ノ出町駅」下車 徒歩10分
- 受講費** 本会会員 1,000円（受講単位数に関わらず一律1,000円です）  
他士会会員 4,000円（受講単位数に関わらず一律4,000円です）
- 内容** 新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	単位
10:00-11:00	C-3. 特別講義（内部障害の理学療法）	1
11:10-12:10	B-3. 統計方法論（高度専門士免除）	1
昼食		
13:10-14:10	B-4. 症例報告・発表の仕方（高度専門士免除）	1
14:20-15:20	B-1. 一次救命処置と基本処置	1
15:30-16:30	E-2. コーチングとティーチング（コミュニケーションスキル含む）	1

- 注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。  
なお、新人の方で会員証がお手元に届いていない方は早急に入会手続きを済ませてください。
- 注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。
- 注) 研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、単位認定できない場合がありますので注意してください。
- 注) 昼食は各自でご用意ください。（ホール内での飲食は厳禁となっています）

**申込方法** 事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。各テーマは独立した研修会です。それぞれ受講登録が必要になります。すべてのテーマを受講される方は、受講登録を5回行っていただくことになります。事前登録で申請したテーマ以外への変更およびキャンセルはできかねますのでご承知おきください。研修会当日にやむを得ずキャンセルをされる場合は、県士会PHS（070-5020-9036）までご一報をお願いいたします。

**講義資料** 日本理学療法士協会「マイページ」よりダウンロードしご持参下さい。会場での準備はございません。

**定員** 400名（先着順）

**申し込み期間**

**申込開始日** 平成26年9月1日（月）12:00～

**申込締切日** 平成26年9月22日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いします。

**問い合わせ先**

横須賀共済病院 リハビリテーション科  
新人教育部 部長：木村 充広  
E-mail：reha-ykh@ykh.gr.jp

### 重要！

#### 生涯学習部から新人教育プログラムの受講登録に関するお知らせ

昨年度より研修会および講習会が日本理学療法士協会の一元管理となりましたことを受け、本会の新人教育プログラム研修会においても、協会会員専用サイト「マイページ」からの事前登録受付を実施しております。新人教育プログラムでは、同日に複数の研修会（テーマ）を開催する形態をとっておりますが、単位の取得にはそれぞれのテーマごとの登録が必要になりますので、事前登録受付の際にはくれぐれもお間違いのないようお願いいたします。

ID・パスワードを紛失された方、ログイン出来ない方は、協会HPの「お問合せ」－「IDパスワード再発行依頼」に従い、ID・パスワードを取得後、受講登録を行ってください。


不明な点につきましては、  
横須賀共済病院 リハビリテーション科 木村 充広 (reha-ykh@ykh.gr.jp) もしくは神奈川県士会事務局 (office@pt-kanagawa.or.jp) までお問い合わせください。

### 地域密着型のお仕事です。一緒に働いてみませんか？

介護サービス  
児童サービス

**Well**

ホイサービスセンター Well(ウェル)




ほく、かながわん！

**PT・OT・ST・看護師 募集中！**

**ARS**  
訪問看護  
リハ・リサーチ

介護サービス  
障がい児・者サービス  
ふらっと



(有)足柄リハビリテーションサービス  
TEL: 0465-39-3730  
URL: <http://ashigara-reha.jp/>



## 新人教育プログラム「C-6 症例発表」の申請方法について

(公社) 神奈川県理学療法士会 新人教育部

神奈川県理学療法士会(本会)では、新人教育プログラム「C 理学療法の臨床」の選択必修4単位のうち、「C-6症例発表」の単位認定を行っております。

これで単位取得を希望される方は、下記の申請方法等をよくご確認いただき、申請を行ってください。

また、本会学術サークル等で症例発表会を企画される方々も、下記の申請方法をよくご確認いただき、申請を希望される発表者へのご案内をお願いいたします。

**資格** 1) 新人教育プログラム「理学療法の臨床」の選択必修4単位のうち、「C-6症例発表」で3単位の取得を希望する会員。

2) 申請者が学術発表の筆頭演者、または論文発表の筆頭著者としての実績を有すること。

3) **学術集会および学術誌基準**

**学術集会**：神奈川県学術サークル、神奈川リハビリテーション研究会、リハビリテーション・ケア合同研究大会、日本心臓リハビリテーション学会、東日本整形災害外科学会、各養成校同窓会主催症例発表会 など

**学術誌**：神奈川県理学療法士会会報「技術と研究」  
理学療法科学、体力科学、臨床理学療法研究 など

上記以外での発表でもご相談ください。審査の上、ご連絡いたします。

4) 2012年4月1日以降に学術集会および学術誌において発表されたもの。

注) 2011年度以前の発表に対する認定は、2013年3月31日をもちまして終了致しました。

注) 2012年度より日本理学療法士協会(協会)主催の学会(日本理学療法学会大会など)や関東甲信越ブロック学会、本会学会での発表は、主催学会より協会へ発表申請が行われておりますので、発表者本人による「C-6症例発表」の申請は不要となりました。発表後は各自マイページをご確認いただき、不明な点は直接協会へお問い合わせください。

**申請方法** 1) **必要書類**

単位認定申請書、返信用ハガキ(宛名明記)、学術集会(学術誌)概要が分かる資料(プログラム集など)の写し、発表抄録(論文抄録)の写し(掲載部分の写し。各自のデータは不可)を同封し、新人教育部へ送付。  
\*単位認定申請書は本会HPよりダウンロードするか、総会資料に掲載されている申請書を複写してご使用ください。

2) **申請・認定料、登録料** 無料

3) **単位認定**

本会より協会へ「C-6症例発表」3単位取得会員として連絡いたします。

申請者にはハガキにて認定されたことをご連絡いたします。

その後、マイページで履修単位の確認を各自行ってください。

なお、認定された単位がマイページに反映されるまで1ヶ月程度かかることを、予めご承知おきください。

4) **申請・問い合わせ先**

神奈川県理学療法士会 新人教育部

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学附属病院リハビリテーション科 外来

担当：秦野 ゆう子・柿沼 綾美

注) 表面には必ず宛名を上記部署・担当者まで明記し、および「新人教育プログラム症例発表申請書同封」と朱書きしてください。

TEL：045-787-2800 (代)

e-mail：syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp

# SAKAimed

明日に踏み出すチカラ。酒井医療

酒井医療株式会社 横浜営業所

横浜市都筑勝田南 2-18-5

tel：045-590-5485

www.sakaimed.co.jp



— 第32回神奈川県理学療法士学会新聞 vol.2—

# 県学会新聞



〈大会テーマ〉

## 社会貢献

-県民に選ばれる理学療法士になるには-

演題登録 9月30日まで  
締切迫る！



### 3つの発表形式で 演題募集中

今年度の学会もより多くの方に参加いただき、活発な意見交換がしやすい環境作りを目指しています。

- ① 口述発表  
スライド資料を使用し多くの来場者に自分の言葉で伝えることができます。
- ② ポスター発表  
ポスター資料を使用しその場で、意見交換ができます。
- ③ Case Movie Discussion  
ポスター発表と動画を使用し、症例をより具体的に知ることで意見交換ができます。  
また、発表を行い易

### 継続企画

くするため、学会ホームページ上にある演題募集についての掲載をぜひご覧ください。

今回の第32回大会では第31回大会で好評だった企画も引継がせていただいております。

### ① case movie デイスカッション

② ハンズオンセミナー  
実技を踏まえ、より臨床をイメージし易い企画を検討しています。

③ ランチオンセミナー  
「地域」や「社会貢献」に関連した内容を企画中です。これまでにないデイスカッション形式で行うテーマも検討しています。

④ 学会賞  
一般演題の抄録を基にノミネート演題を決定します。

### 特別講演・公開講座の講師決定

特別講演では、山口光國先生をお招きして



ご講演頂きます。  
横浜ベイスターズのフィジカルコーチを務めたこともあり、肩の専門家である先生は、心身両面からの対応についての研究にも携わっているため、講演では多くの技術や経験を聞くことができます。

公開講座では、春木豊先生をお招きしてご講演頂きます。

早稲田大学の名誉教授で心理学者である先生の講演では、「心」と「身体の動き」を研究されている内容を聞くことができるため、明日からの臨床にも生かせる内容となっております。

※春木豊先生（早稲田大学 名誉教授 心理学 者：身体心理学）

第32回学会ホームページアドレス  
<http://congress-kpta.jimdo.com/>

QRコード



ホームページ内容は随時更新中です。こちらもぜひご覧ください。

### 会期と会場

平成27年3月22日  
パシフィコ横浜

### 演題募集期間

8月1日～9月30日登録締切



## ●県士会主催

## 研修会・講習会



## 平成26年度 内部障害領域講習会のお知らせ

### 神奈川県理学療法士会生涯学習部

**テーマ:** 摂食・嚥下障害に対する理学療法士の関わり方  
～呼吸機能に関連した身体機能の評価と対応～

**内容:** 病院から施設や在宅へ職域が広がるにつれて、摂食・嚥下障害に関わる理学療法士は増えています。今回は、嚥下機能と深く関係している呼吸機能を中心に身体機能評価と対応について、実技を交えて行いたいと思います。  
(本講習会は平成26年9月23日開催の内部障害領域講習会と同内容です。)

**日時:** 平成26年11月15日(土) 13:00～17:00(受付12:30～)

**会場:** 神奈川リハビリテーション病院  
神奈川県厚木市七沢516

**講師:** 小泉 千秋 先生  
(七沢リハビリテーション病院 脳血管センター 理学療法士)

**受講料:** 会員 2,000 円、他士会員 5,000 円

**申込方法:** 日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 Web

登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

**申込受付期間:** 平成26年9月15日(月・祝) 14:00～11月7日(金) 17:00

**定員:** 50名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

**対象:** 神奈川県理学療法士会会員および協会員のみとなります。非会員は受講できませんのでご注意ください。

**単位認定:** 【新人教育プログラム履修者】  
「理学療法の臨床:C-3 内部障害の理学療法」:1単位  
【専門領域研究部会登録者】  
「2.講習会・研修会の受講 5) 都道府県士会主催の講習会・研修会」:10ポイント -対象研究部会-4.内部障害理学療法研究部会「b認定理学療法士(呼吸)」  
「d 専門理学療法士」

**お問合せ先:** 七沢リハビリテーション病院 脳血管センター  
理学療法科 尾崎将俊  
E-Mail: nanasawa-pt@kanagawa-rehab.or.jp

## 平成26年度 神経理学療法領域講習会のお知らせ

### 神奈川県理学療法士会生涯学習部

**テーマ:** 中枢神経に与える運動療法の効果

**内容:** 多くの臨床家が脳損傷後のケースに運動療法を用いて理学療法を導入しており、勉強していく中で基礎研究について情報を得ることが多くあります。しかし、そういった基礎研究の知見と臨床における運動療法はつなげることが難しく、知識に留まって臨床に展開できていないことも多いと思います。そこで、今回は臨床でしている運動の練習や再学習が、中枢神経系にどのような効果を与えるのかといった観点の講習会を開催することとなりました。知識だけでなく臨床において役立つような実践理論として、将来的な展望も含めてお話しいただく予定です。

**日時:** 平成26年11月30日(日)  
10:00～13:00(受付開始9:30～)

**会場:** 神奈川県立保健福祉大学 講堂  
〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1

**講師:** 菅原 憲一 先生  
(神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科)

**受講料:** 会員 2,000 円、他都道府県士会員 5,000 円

**申込方法:** 日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 Web 登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

**申込受付期間:** 平成26年9月30日(火) 14:00～  
平成26年11月21日(金) 17:00

**定員:** 250名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

**対象:** 神奈川県士会員、協会員のみとなります。非会員は受講できませんのでご注意ください。

**単位認定:** 履修ポイントについては現在詳細を検討中なので、判明

次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

**【新人教育プログラム履修者】**  
「理学療法の臨床 C-1 神経系疾患の理学療法」:1単位  
【専門領域研究部会登録者】  
「2.講習会・研修会の受講 5) 都道府県士会主催の講習会・研修会」:10ポイント  
-対象研究部会-  
1.基礎理学療法研究部会  
「a認定理学療法士(ひとを対象とした基礎領域)」  
「d 専門理学療法士」  
2.神経理学療法研究部会  
「a認定理学療法士(脳卒中)」  
「d認定理学療法士(発達障害)」  
「d 専門理学療法士」

**お問合せ先:** 横浜市北部地域療育センター 通園課  
理学療法士 中須千尋  
TEL: 045-942-3451  
メール: nakasu.c@yokohama-rf.jp  
お問合わせはメールでお願いします。

**その他:** ● 託児室を設置します ●  
(公社) 神奈川県理学療法士会会員のお子様を対象に、託児室利用が無料でできます。  
申し込み方法は、会員ライフサポート部の活動報告ページ(5ページ)やホームページに掲載しています。ママ・パパどちらでも、利用価値あります。是非ご利用ください。

# 研修会・講習会



## 平成26年度 介護保険関連理学療法士 実務者研修会 のお知らせ 神奈川県理学療法士会介護保険部

**テーマ:**「今だから聞きたい!リスク管理」  
～事例・グループワークを通して学ぶ様々なリスク管理～

**内容:**通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションなど介護保険分野で働いている理学療法士は常に危険に晒されています。病院内とは違いすぐ近くに医師はいない、看護師もいない、もしかすると相談する先輩や同僚もいないことも多々あることでしょう。そんな中で自信を持って臨床を進めていくためにはリスク管理の知識は必要不可欠となってきます。普段気がついていない危険から、普段頭を悩まされているリスク管理について一日かけて学んで頂きたいと思います。

**日時:**平成26年11月30日(日)  
10:00～16:00(受付開始9:30)

**会場:**横浜リハビリテーション専門学校  
〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区信濃町550-1

**講師:**大森 豊 先生

**受講料:**2,000円

**申込方法:**日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 Web 登録をお願いします。  
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

**申込受付期間:**平成26年10月1日(水)～平成26年11月21日(金)17:00

**定員:**100名

**対象:**神奈川県理学療法士 会員

**単位認定:**履修ポイントの最新情報については、本会ホームページで確認してください。

**お問合せ先:**介護老人保健施設 さつきの里あつぎ  
リハビリテーション科 前田 玲  
TEL:046-227-1188(代) FAX:046-227-0033  
e-mail:maeda@tomei.or.jp

## 平成26年度 会員ライフサポート部復職支援事業 交流会&託児室付研修会のお知らせ

**<研修会>** 13:30～15:30  
今さら聞けないシリーズ5「生活期に関わる理学療法士のためのリスク管理～事例を通して～」

**講師:**大森豊先生(訪問看護リハビリテーションネットワーク)

**内容:**施設や通所リハ、訪問リハなど生活期に関わる理学療法士が理解しておくべきリスクについて、経験の少ない方に起こりやすいインシデントを中心に、具体的な事例を通して教えていただきます。

**<交流会>** 15:40～16:30  
日頃、頑張っていること・工夫していること・困っていることなどを皆で気軽に話し合しましょう。

**日時:**平成26年12月21日(日) 13:30～16:30

**会場:**ウイリング横浜 12階  
京浜急行/市営地下鉄「上大岡駅下車」徒歩3分  
横浜市港南区上大岡西1-6-1ゆめおおおかオフィスタワー内

**受講費:**無料

**対象者:**(公社)神奈川県理学療法士会会員

**定員:**70名

\*離職中の方、託児室利用希望者は、優先的に参加できるように配慮しますので、定員オーバーで申し込みなかった場合は、下記の問合せ先までご連絡下さい。  
ただし、申込期間内に限ります。

**履修ポイント:**現在詳細を検討中です。確定次第、県士会ホームページにアップしますので、最新情報はホームページで確認してください。

**申込方法:**日本理学療法士協会のマイページから事前 Web 登録をしてください。

**申し込み期間:**平成26年10月21日(火)～12月12日(金)

**お問合せ先:**(公社)神奈川県理学療法士会 会員ライフサポート部  
E-mail lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

◆～託児室併設のお知らせ～◆  
ウイリング横浜内に託児室を設置します。お問い合わせ、利用のお申し込みは5ページあるいは県士会ホームページの[会員ライフサポート部]をご参照ください。



**Daiwa House.**  
大和ハウスグループ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

ロボットスーツ HAL®福祉用は、  
全国で約250台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中!

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号  
ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室



## information



**重要**

## 会費納入確認のお願い 振込票を使用し会費納入を行っている方へ

日本理学療法士協会から送付されている払込票を使用し、郵便局のATMやネットバンク等をご利用頂いた一部の方で、正常に入金確認ができない方法でお振込されているケースが判明しております。

入金確認ができない振込方法は、振込票に「郵便振替代行センター」の口座番号を入力している場合です。

マイページの決済履歴をご確認頂き、振込日より1週間以上経過しても「入金済」でない場合は、振込日等のわかる控えをご用意の上、日本理学療法士協会事務局へご連絡ください。

今後納入予定の方は、決して「郵便振替代行センター」の口座番号を入力して直接送金等されないよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯するようお願いいたします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

\*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

### 【注意事項】

- 再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- 再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会  
事務局長 佐藤 史子

## 楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

\*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

\*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会  
事務局長 佐藤 史子

# Gift

日本ウイール・チェア  
オリジナルカーシート  
(150センチ程度まで)



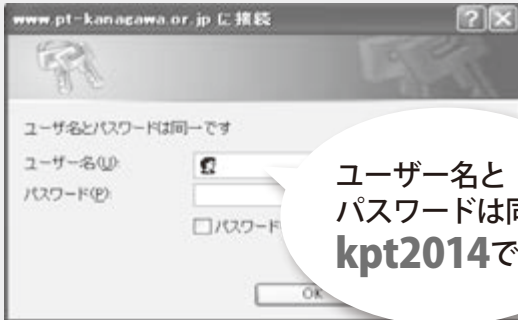
車いすなんでも相談



日本ウイール・チェア株式会社  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31  
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730



## アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります  
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

## 訪問リハビリテーションが朝日新聞神奈川版に取り上げられました！

訪問リハビリテーション協議会が朝日新聞神奈川版に掲載されました（下記URLもしくは右QRコード）。また、今後、朝日新聞神奈川版の「教えて！○○のシゴト」に訪問リハビリテーションに携わる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が順次登場する予定です。（「訪問リハビリテーション協議会」は本会と神奈川県作業療法士会、神奈川県言語聴覚士会を構成団体とする訪問リハビリテーションを推進する団体です）  
※掲載先

<http://www.asahi.com/area/kanagawa/articles/MTW20140711150160001.html>



## 第49回日本理学療法士学会大会が週間医学会新聞に掲載！

第49回日本理学療法学会大会が週刊医学界新聞に掲載されました。記事には本会が全国に先駆けて取り組みを行っているライフサポートセミナーが取り上げられていますのでご報告します。内容については下記URLあるいは右QRコードで確認できます。本会は今後も継続して会員の就業支援を行っていきます。

※掲載先  
[http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA03082\\_04](http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA03082_04)



## 健康チャレンジフェアかながわスタッフ募集

【内 容】健康チャレンジフェアにブース出展します。健康相談（高齢者にはFRI）や測定（ファンクショナルリーチテストや片脚立位）を行い、国民向けの介護予防冊子を配布します。  
業務内容は体力測定や相談業務、受付・案内です。  
【開催日時】11月29日（土）11時から16時（予定）  
【会場名】クイーンズサークル（みなとみらい クイーンモール1F）  
【受講条件】神奈川県士会員ののみ  
【定 員】10～15名

【応募ポイント】介護予防推進リーダーの士会指定事業に該当  
※資格取得のための詳細については日本理学療法士協会ホームページを参照してください  
【申込方法】Web受付  
【申込要項】入会年度欄に、経験年数をご記入ください。  
【申込開始日】2014年9月1日 12：00～  
【申込締切日】2014年9月30日  
【その他】動きやすい服装  
【お問合せ】神奈川県理学療法士会 事務局 電話045-326-3225

# 理事会報告



## 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 2014年度第1回理事会報告

- I. 開催日時：2014年5月20日(火) 19:00～21:45  
 II. 会場：神奈川県理学療法士会事務所  
 III. 理事現在数及び定足数並びに出席理事数及びその氏名  
 理事現在数：15名  
 定足数：8名  
 出席理事数：14名  
 出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、大槻  
 かおる、惣田 洋、佐藤史子、坪内敬典、相川浩一、露木昭  
 彰、小山理恵子、岡本賢太郎、久保雅昭、久保木あずみ

### IV. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数：3名  
 出席監事：井上 保、君嶋武司

### V. 第32回神奈川県理学療法士学会会長氏名

出席第32回神奈川県理学療法士学会会長：大平功路

### VI. 出席事務職員氏名

出席事務職員：小野田誠子、小林和美

### VII. 議長の氏名

秋田 裕

### VIII. 議 題

- 第1号議題 2013年度(平成25年度)事業報告ならびに収支  
 計算書の承認について  
 第2号議題 2014年度(平成26年度)定時総会の招集について  
 第3号議題 選挙管理委員の承認について  
 第4号議題 業務執行の決定について  
 (事業報告及び各種団体からの依頼事項の承認  
 を含む)

### 報告事項

### IX. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

#### (1) 定足数の確認等

議長が理事会冒頭で定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

#### (2) 第1号議案 2013年度(平成25年度)事業報告ならびに収支計算書の承認について

議長の求めに応じ、林副会長より2013年度(平成25年度)事業報告ならびに事業報告明細書、収支計算書等の書類として貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表および正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録について説明があった。また井上監事より平成26年5月18日に監事3人による監査会が開催され、資料の監査報告書の通り、監査書類は適正に作成され2013年度(平成25年度)事業が大きな問題なく遂行されていたことを確認した旨の報告があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

#### (3) 第2号議案 2014年度(平成26年度)定時総会の招集について

議長の求めに応じ、事務局より開催日時を平成26年6月15日、開催場所を男女共同参画センター横浜(フォーラム)、議題を「2013(平成25)年度事業報告並びに収支決算(案)の承認を求める件」とする原案の説明をした。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

#### (4) 第3号議案 選挙管理委員長の選出の報告について

議長の求めに応じ、林副会長より選挙管理委員長の転勤により任期満了前に選挙管理委員長が不在となるため、

東福寺規義氏が選挙管理委員として互選にて選出されたことが報告された。

#### (5) 第4号議題 業務執行の決定について

(事業報告及び各種団体からの依頼事項の承認を含む)

- 1) 議長の求めに応じ、佐藤事務局長より会員の資格の取得について、前回理事会からの入会予定者76名の申請があり説明がされた。審議の結果、出席理事全員一致にて承認した。
- 2) 議長の求めに応じ、佐藤事務局長より既にメールにて仮承認済である賛助会員入会希望の東洋羽毛首都圏販売(株)について、説明があり、審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。
- 3) 関連団体依頼事項の件

①久保木理事より、介護保険改正に係る実務者等懇談会委員会の会員推薦依頼について説明があり、審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

②久保理事より、第14回川崎市障害者スポーツ大会開催について、会員推薦依頼であったが、競技場が工事のため、今年度は3名の視察となった事が説明された。

改修後、来年度以降は、メディカルサポートとなる事も合わせて報告された。審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

③佐藤事務局長より、神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター主催研修会の後援依頼について説明がされた。審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

その他仮承認済の23件が説明された。審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。しかし、市民講座「脳卒中後遺症のリハビリテーション」については、依頼元区分をその他と修正し、改めて主催者に事業の内容を確認することでメール承認の対象とし継続審議となった。

④佐藤事務局長より、仮承認済である「会計規定」「旅費規定」「賃金規定」「講師謝金等支払規定」ホームページからの「問合わせ」「対応マニュアル」「分掌規定」について報告があり審議の結果、原案通り出席理事全員一致にて承認した。

#### 4) 学術局

①大平学会長より、第32回神奈川県理学療法士学会準備委員について、説明がされた。準備委員の中に非会員・休会員がいない事も確認されたため、審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認した。

②大平学会長より、第32回神奈川県理学療法士学会の学会テーマおよび企画案について説明がされた。

テーマは『「社会貢献」-県民に選ばれる理学療法士になるには-』とし、各種企画を審議中であることが説明された。

審議の結果、第31回学会の反省および学会企画が

# 理事会報告



学術大会部長名で出ていることについて、担当理事および常任理事と密に調整を図りながら進めていくことを確認して、原案通り出席理事全員一致で承認した。

- ③岡本理事より、第33回神奈川県理学療法士学会の担当地区が湘南西部であり、学会長に鶴巻温泉病院の松本肇氏を推薦する旨が報告された。審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認した。
- ④岡本理事より、抄録集電子化と製本に対する検討について、ジャーナル関係、図書館関係全てで、電子媒体での寄贈が可能であり、今後は電子化していくことの説明がされた。その際には会員への周知を図る意味でも、抄録集電子化を継続的に広報する事が確認された。審議の結果、原案通り出席理事全員一致で承認した。

## XI. 報告事項

### (1) 会長職務執行状況報告

秋田会長より、前回理事会からの昨日までの会長職務の執行状況が報告された。

### (2) 事務局業務執行状況報告

佐藤局長より、前回理事会から昨日までの事務局の執行状況が報告された。

- 1) 会員動向について  
転入85名、転出64名、復会22名、休会30名、退会16名、県内異動211名、2014年5月20日現在での会員数は4,015名であることが報告された。
- 2) 会費未納者の退会について  
会費未納の対象者には、退会時に未納会費分を全額納めるとする事が報告された。
- 3) 総務部より、平成26年度新人オリエンテーションが行われたことが報告された。
- 4) 総務部より、第35回定時総会準備状況について報告された。
- 5) ニュース編集部より、5月号が発行されたことが報告された。

- 6) 広報部より、執行状況が報告された。
- 7) ウェブサイト管理部より、執行状況が報告された。
- 8) 会員ライフサポート部より、学術大会で、「託児室アンケート調査」「ライフサポートセミナー」を行うことが報告された。
- 9) 災害対策委員会より、執行状況が報告された。
- 10) その他についても、執行状況が報告された。
  - ① 神奈川県委託事業の検討について
  - ② 会議室利用時の施錠について
  - ③ 定時総会議決権行使書提出依頼の連絡について

### (3) 学術局業務執行状況報告

露木局長より、前回理事会から昨日までの学術局の執行状況が報告された。

- 1) 新人教育部より、症例発表時審査料を必要とする時期に申請を行った4名の内未入金2名に対しては、単位認定を行わない事が報告された。
- 2) 学術大会部より、執行状況が報告された。
  - ① 第31回神奈川県理学療法士学会における寄付金の取扱いについて
  - ② 事前登録について
  - ③ 演題査読係のスケジュールと査読者選定について
- 3) 研究支援部より、HP作成と広報について報告された。

### (4) 社会局業務執行状況報告

惣田局長より、前回理事会から昨日までの社会局の執行状況が報告された。

- 1) 県医療専門職連合会について、報告された。
- 2) 公益事業推進部より、執行状況が報告された。
  - ① ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2014出展
  - ② 公開セミナー・公開講座
  - ③ 公共スペース・理学療法普及啓発キャンペーン

### (5) 職能局業務執行状況報告

大槻局長より、前回理事会から昨日までの職能局の執行状況が報告された。

- 1) 医療保険部より、執行状況が報告された。
- 2) 介護保険部より、執行状況が報告された。
- 3) 発達障害支援部より、執行状況が報告された。

現在のがん治療に合わせて進化したアフラックの新しい「がん保険」

青いダック

生きるためのがん保険 Days

ちゃんと考える人に。新登場。

ちゃんと応える医療保険 NEVER

アフラック

お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

**0120-5931-98**

引受保険会社

**Aflac**

首都圏総合支社  
東京都新宿区西新宿1-23-7新宿ファーストウエスト17F TEL.03-3344-1580

アフラックは  
がん保険・医療保険  
契約件数 **No.1**

平成25年度「インシニアランス生命保険総計」

# スポーツ現場 の 独り言 (1)

## スポーツと政治は無関係？

今年はサッカーのワールドカップが行われました。国を代表するチーム同士の戦いには、日本でも寝不足になった方が多かったことでしょう。わたくしも仕事柄、国際大会で海外チームと対戦することが多く、現場では日の丸を見たり君が代を聞いたりすると非常にナショナリズムを掻き立てられます。自分の中にこんな愛国心があったのか？と、海外に出たり、あるいは五輪放送を見たりすることで再確認されることが多いものです。

そんな国際大会の現場に立つと、スポーツは政治と無関係なのか？と思うことが度々あります。ということで、スポーツと政治の関係について、少し歴史的に考えてみました。

まず中世ヨーロッパでは国王による絶対王政が続いていましたが、17世紀に市民革命が各地で勃発し、封建主義の解体と市民による民主主義が始まります。その後、産業革命

によって資本家が生まれ、貴族以外の資産家が学ぶパブリックスクールという学校が登場します。このパブリックスクールが、貴族のたしなみだったスポーツを教育の一環として発展させていくベースになるのです。

この間、国家の外交にも変化が生まれます。もともと中世では国家と国家の交渉術として戦争が行われ、外交交渉はその遂行手段でしかありませんでした。しかし、それでは互いの国力が疲弊するばかりだということで、近世になって外交交渉が軍事と切り分けて行われるようになりました。政治に一定のルール化がなされたわけです。時を同じくして、スポーツでも国際的なルールの統一と組織化が行われます。これを最初に成し遂げたのがサッカー競技です。国際サッカー連盟(FIFA)が19世紀に国際ルールを統一することに成功します。このルール化の基盤になったのが、パブリックスクールによる対抗戦だったのです。そして、それ以降スポーツ各種目で国際的なルールの整備と国の代表による試合が進められていくことになるのです。

スポーツ社会学では、このように戦争がソフト(外交)とフィジカル(スポーツ)という2つの概念に分割され、それぞれ発展してきたという考え方があります。そう考えると、スポーツと政治は無関係ではなく、むしろスポーツが持つ政治的力という側面をもっと利用したほうがいいとも考えられないでしょうか。戦争するくらいなら、スポーツで戦ったほうがいいですよ。

独立行政法人日本スポーツ振興センター

マルチサポート事業 小泉圭介

## あなたのニーズを

### “かたち” にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

 (有)木村義肢工作研究所

〒247-0006神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号  
TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

## 理学療法士 在宅酸素療法の包括的サポートツール

さんに是非使って頂きたい!

 Pallet's

運動療法・呼吸療法等+リモコン機能+災害対応

電話 045-852-8170



パレット



 株式会社 星医療器

## 編集後記

### 編集後記

9月になり夏の暑さも高校野球の盛り上がりもおさまり、少し涼しさを感じられるようになりました。今年の夏の高校野球は天候の影響で開会式の延期はありましたが、高校生の闘志みなぎるプレーは感動的でした。野球というひとつのスポーツを通して仲間との協調や自分の責任を感じることは、この先の人生に必ず役立つ大きなものを得ているのだらうと、若い汗と涙に感じました。

さて、この9月号より新しい連載がスタートしました。小泉圭介先生による『スポーツ現場の独り言』です。理学療法士、アスレティックトレーナーとして水球や競泳の世界大会に帯同したご経験をもとに、スポーツの役割や理学療法士の関わりなどをご紹介していただきます。理学療法士はレクリエーションレベルでも競技レベルでも、様々なスポーツに携わることが多くなってきました。また2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでもたくさんの方の繋がりが期待されます。今後の小泉先生の連載をどうぞお楽しみに！！  
(渡邊)

次号の原稿締め切りは**10月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部（ニュース編集部宛）

**news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp**

〈原稿は添付ファイルでお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願致します。

### — 求人広告掲載についてのお知らせ —

これまで本ニュースにおいて掲載しておりました求人広告ですが、2014年3月号をもって終了とさせていただきます。

今後は、ホームページのみの掲載となります。

ホームページでの求人掲載の申込方法については、以下のURLよりご確認ください。

<http://pt-kanagawa.or.jp/members/job-offer/recruit/>

### ◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：坪内 敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

部長：谷 浩明（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

部員：渡邊観世子（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

今井 祐子（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

田島 敬之（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）

## TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階（横浜駅徒歩2分）

■お問い合わせ 0120-12-6186（営業時間 10：00～20：00）

 **神奈川ロイヤル株式会社**

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1

TEL：045-440-3911 FAX：045-440-3912

# SP-i

## 義肢・装具・整形靴・特殊靴など

### 製作から修理、調整等

# 湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>